

令和5年1月11日
令和5年1月12日一部訂正
気象庁地震火山部

配信資料に関するお知らせ

～令和5年2月1日に運用を開始する電文の配信試験等について～
(配信資料に関する技術情報 第573号、第591号関連)

令和3年12月22日付「配信資料に関する技術情報 第573号」において、「長周期地震動に関する観測情報」の配信試験の具体的な日時や個別の観測点のパラメータ等については、別途お知らせするとしていたところです。

また、令和4年7月15日付「配信資料に関する技術情報 第591号」において、従来よりも詳細化・高度化した「推計震度分布図」の配信試験の具体的な日時や発表条件・配信タイミングの詳細、サンプルデータについて、別途お知らせするとしていたところです。

これらのことについて、下記のとおりお知らせします。

記

1 配信試験について

次の日時に配信試験を2回実施する予定です。当日のスケジュール、配信する電文等の詳細については、別紙1をご覧ください。

(1回目)

令和5年1月25日(水) 12時00分～12時30分

(予備日 令和5年1月26日(木) 同時刻)

(2回目)

令和5年2月1日(水) 12時00分～12時30分

(予備日 令和5年2月2日(木) 同時刻)

2 長周期地震動に関する観測情報(VXSE62)について

(1) 発表条件・配信タイミングの詳細

地震情報を発表した地震のうち、長周期地震動階級1以上を観測した場合、地震発生から概ね10分後に配信します。

(2) 長周期地震動に関する観測情報に使用する観測点パラメータ

長周期地震動に関する観測情報で使用する観測点コードは地震情報で使用されている気象庁震度観測点の観測点コードと同じとなりますが、以下の観測点が

新たに追加されます。

<Name>：横浜鶴見区大黒ふ頭 <Code>：1410199

これに伴い、下記のパラメータ等を配布します。

- ・「R05_0201_説明資料.xls」
- ・「choshuki_yokohama_daikokufuto(XML).xls」

3 250mメッシュの推計震度分布図について

(1) 発表条件・配信タイミングの詳細

最大震度5弱以上を観測する地震が発生した場合、地震発生から概ね15分後に配信します。

(2) サンプルデータ

(一財) 気象業務支援センターにサンプルデータを提供しましたので、必要な方は同センターまでお問い合わせください。サンプルデータの概要等については、別紙2～4をご覧ください。

なお、運用開始の時刻等については、別途お知らせします。

【本件に関する問い合わせ先】

(配信試験について)

管理課計画係 03-6758-3900 (内線 5116)

(長周期地震動に関する観測情報について)

地震津波監視課強震解析係 03-6758-3900 (内線 5140)

(250mメッシュの推計震度分布図について)

地震津波監視課震度情報係 03-6758-3900 (内線 5138)

【訂正履歴】

○令和5年1月12日

別紙2「BUFR形式推計震度分布図データ (IXAC41) 例」

第0節「オクテット：5～7」に記載される「第0節～第5節までの長さ」を修正

- ・ H E X (誤)025446 → (正)025444
- ・ 内 容 (誤)152646 → (正)152644

別紙4「BUFR形式推計震度分布図データ (IXAC41) の第4節 (資料節) 例」

「オクテット：5～」、「データ幅：可変」に記載される「第4節の長さを偶数オクテットにするため"0"データの補完」の表記を修正

- ・ (誤) 00000000000000000000 → (正) -
- ・ 注釈 (※2) として、今回提供するサンプルデータでは補完がない旨を追記

新規電文追加に伴う配信試験（1回目）のスケジュール

●令和5年1月18日（水）12時00分

発信時刻	運用種別 (Control/Status)	配信する電文の データ種類コード	(英字) 発信官署	電文内容
12時00分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

●令和5年1月25日（水）10時00分

発信時刻	運用種別 (Control/Status)	配信する電文の データ種類コード	(英字) 発信官署	電文内容
10時00分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

●令和5年1月25日（水）12時00分～12時30分（予備日：1月26日（木）同時刻）

新規電文追加に伴う試験配信開始のお知らせ				
12時00分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

新規電文追加に伴う試験配信				
12時05分	訓練	VXSE62	RJTD	長周期地震動に関する観測情報
12時10分		VXSE62	JPOS	長周期地震動に関する観測情報
12時20分		IXAC41	RJTD	250mメッシュ推計震度分布図作図用データ
12時25分		IXAC41	RJTD	250mメッシュ推計震度分布図作図用データ

新規電文追加に伴う試験配信終了のお知らせ				
12時30分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

○留意事項

- ・電文発信時刻はあくまでも目安であり、多少前後することがあります。
- ・電文の種類によって配信先が異なるため、利用者に全ての電文が配信されるとは限りません。
- ・XML電文は運用種別（Control/Status）を参照いただき、誤って利用しないよう十分留意願います。
- ・防災情報提供システム向けにメール報が配信されますのでご承知置き願います。
- ・気象・地震・火山活動の状況等により本試験配信を中断もしくは延期することがあります。その場合は、VZSE40電文にてお知らせします。

新規電文追加に伴う配信試験（2回目）のスケジュール

●令和5年2月1日（水）10時00分

発信時刻	運用種別 (Control/Status)	配信する電文の データ種類コード	(英字) 発信官署	電文内容
10時00分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

●令和5年2月1日（水）12時00分～12時30分（予備日：2月2日（木）同時刻）

新規電文追加に伴う試験配信開始のお知らせ				
12時00分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

新規電文追加に伴う試験配信				
12時05分	訓練	VXSE62	RJTD	長周期地震動に関する観測情報
12時10分		VXSE62	JPOS	長周期地震動に関する観測情報
12時20分		IXAC41	RJTD	250mメッシュ推計震度分布図作図用データ
12時25分		IXAC41	RJTD	250mメッシュ推計震度分布図作図用データ

新規電文追加に伴う試験配信終了のお知らせ				
12時30分	通常	VZSE40	RJTD	地震・津波に関するお知らせ

○留意事項

- ・電文発信時刻はあくまでも目安であり、多少前後することがあります。
- ・電文の種類によって配信先が異なるため、利用者に全ての電文が配信されるとは限りません。
- ・XML電文は運用種別（Control/Status）を参照いただき、誤って利用しないよう十分留意願います。
- ・防災情報提供システム向けにメール報が配信されますのでご承知置き願います。
- ・気象・地震・火山活動の状況等により本試験配信を中断もしくは延期することがあります。その場合は、VZSE40電文にてお知らせします。

節	オクテット	H E X	内容	解説	データ幅	備考	
第0節	1~4	42554652	BUFR	BUFR冒頭の識別 (国際アルファベットNo.5)			
	5~7	025444	152644	第0節~第5節までの長さ-オクテット			
	8	03	3	BUFRの版番号 = 3 (注: 版番号は変更の可能性あり)			
第1節	1~3	000012	18	第1節の長さ-オクテット			
	4	00	0	標準BUFRマスター表			
	5	00	0	副中核ではない			
	6	22	34	作成中核 気象庁 = 3 4			
	7	00	0	更新一連番号			
	8	00	00000000bin	第2節を含まない			
	9	FF	255	資料のカテゴリ = 「カテゴリ-外である」			
	10	00	0	資料の副カテゴリ (当面保留)			
	11	08	8	使用したマスター表のバージョン番号			
	12	00	0	使用したローカル表のバージョン番号			
	13~17	17010A050F	2301100515	年月日時分 (発表時刻、UTC、年は世紀中の年を入力する) =23年01月10日05時15分(UTC)=23年01月10日14時15分(JST)			
18	00	0	保留				
第3節	1~3	000048	72	第3節の長さ-オクテット		※1	
	4	00	0	保留			
	5~6	0001	1	データサブセット数			
	7	80	10000000bin	非圧縮観測資料			
	8~9	4500	1 05 000	5 記述子の遅延反復		-	
	10~11	1F01	0 31 001	反復回数 (報ずる階級震度分)		8	
	12~13	08C1	0 08 193	要素の修飾 (次の階級震度は、「計測震度1」以上「計測震度2」以下である)		7	
	14~15	08C6	0 08 198	階級震度の修飾 (強、弱・[+、-])		2	
	16~17	3C03	0 60 003	階級震度 (整数部)		4	
	18~19	3C02	0 60 002	計測震度1 <-- 階級震度に対応する計測震度の下限		7	
	20~21	3C02	0 60 002	計測震度2 <-- 階級震度に対応する計測震度の上限		7	
	22~23	01F2	0 01 242	電文の種類 (2桁数字)		7	
	24~25	C10B	3 01 011	年月日 (地震時刻、UTC)		22	
	26~27	C10C	3 01 012	時分 (地震時刻、UTC)		11	
	28~29	01F0	0 01 240	震央地名番号		10	
	-	-	-	-	現象の位置の修飾 (震央は、「震央地名の補助的表現のための地点番号」から方位角の方向の距離で示す位置付近)		(7) 津波発生時のみ出現 (サンプルデータでは出現しない)
	(30~31)	(08C2)	(0 08 194)		震央地名の補助的表現のための地点番号		(10) 津波発生時のみ出現 (サンプルデータでは出現しない)
	(32~33)	(01F1)	(0 01 241)		方位-0.01度単位 (真方位)		(16) 津波発生時のみ出現 (サンプルデータでは出現しない)
	(34~35)	(0515)	(0 05 021)		尺度変更 (√10**(-2)) ↙		(13) 津波発生時のみ出現 (サンプルデータでは出現しない)
	(36~37)	(827E)	(2 02 126)		距離-10m単位 尺度変更により、1000m単位扱い		(13) 津波発生時のみ出現 (サンプルデータでは出現しない)
	(38~39)	(0615)	(0 06 021)		尺度変更 (元に戻す) ↘		(13) 津波発生時のみ出現 (サンプルデータでは出現しない)
	(40~41)	(8200)	(2 02 000)		緯度 (0.01度単位)		15
	30~31	0502	0 05 002		経度 (0.01度単位)		16
	(42~43)				尺度変更 (√10**(-5)) ↙		-
	32~33	0602	0 06 002		深さ-0.01m単位 尺度変更により、1000m単位扱い		14
	(44~45)				尺度変更 (元に戻す) ↘		-
	34~35	827B	2 02 123		マグニチュード		7
	(46~47)				13記述子の遅延反復		-
	36~37	073D	0 07 061		反復回数 (2次メッシュの数)		16
	(48~49)				1次メッシュ緯度番号		7
	38~39	8200	2 02 000		1次メッシュ経度番号		7
	(50~51)				2次メッシュ緯度番号		4
	40~41	3C01	0 60 001		2次メッシュ経度番号		4
	(52~53)						
	42~43	4D00	1 13 000				
	(54~55)						
	44~45	1F02	0 31 002				
	(56~57)						
	46~47	05F0	0 05 240				
	(58~59)						
	48~49	06F0	0 06 240				
	(60~61)						
	50~51	05F1	0 05 241				
	(62~63)						
	52~53	06F1	0 06 241				
(64~65)							

	54~55 (66~67)	4700	1 07 000	7 記述子の遅延反復	—	
	56~57 (68~69)	1F01	0 31 001	反復回数 (当該2次メッシュ内の3次メッシュの数)	8	
	58~59 (70~71)	05F2	0 05 242	3次メッシュ緯度番号	4	
	60~61 (72~73)	06F2	0 06 242	3次メッシュ経度番号	4	
	62~63 (74~75)	4300	1 03 000	3 記述子の遅延反復	—	
	64~65 (76~77)	1F03	0 31 003	反復回数 (当該3次メッシュ内の4分の1地域メッシュの数)	8	
	66~67 (78~79)	05F3	0 05 243	2分の1地域メッシュ番号	3	
	68~69 (80~81)	06F3	0 06 243	4分の1地域メッシュ番号	3	
	70~71 (82~83)	3C02	0 60 002	計測震度	7	
	72 (84)	00	0	保留		
第4節	1~3	0253DE	152542	第4節の長さ—オクテット		
	4	00	0	保留		
	5~			データの中身		
	152542	00	0	保留		
第5節	1~4	37373737	7777	BUFR終端の識別 (国際アルファベットNo.5)		

※1：第3節において津波発生時にのみ出現する記述子についての補足

- ① オクテット欄の括弧付き数値は、津波発生時の数値を示す。
- ② H E X欄の括弧付き数値は、津波発生時の数値を示す。
- ③ 内容欄の括弧付き数値は、津波発生時の数値を示す。
- ④ データ幅欄の括弧付き数値は、津波発生時の数値を示す。

なお、上記①～④について、括弧の付いていない数値は、津波が発生していない時の数値を示す。

サンプルデータについては、津波が発生していない時の数値を参照すること。

記述子	要素名	資料幅ビット	参照値	フォーマット
FXY				
1 05 000	5 記述子の遅延反復		-	
0 31 001	反復回数 (報ずる階級震度分)	8		0 3桁数字 8ビット
0 08 193	要素の修飾	7		0 3桁数字 7ビット
0 08 198	階級震度の修飾 (強、弱・ [+、-])	2		0 2桁数字 2ビット : 00=なし、01=弱[-]、10=強[+]
0 60 003	階級震度	4		0 2桁数字 4ビット
0 60 002	計測震度 (0.1単位)	7		0 3桁数字 7ビット
0 01 242	電文の種類 (通常=00、訓練=01、等)	7		0 2桁数字 7ビット
3 01 011	年月日 (地震時刻、UTC)	22		0 年12ビット+月4ビット+日6ビット
3 01 012	時分 (地震時刻、UTC)	11		0 時5ビット+分6ビット
0 01 240	震央地名番号	10		0 3桁数字10ビット
0 08 194	現象の位置の修飾	7		0 2桁数字 7ビット
0 01 241	震央地名の補助的表現のための地点番号	10		0 3桁数字10ビット
0 05 021	方位-0.01度単位 (真方位)	16		0 5桁数字16ビット
2 02 126	尺度変更 (「距離」の単位 : 10m→1000m、1 0 の (Y-128) 乗で除する)		-	
0 06 021	距離-10m単位	13		0 4桁数字13ビット
2 02 000	尺度変更 (元に戻す)		-	
0 05 002	緯度 (0.01度単位)	15	-9000	4桁数字15ビット
0 06 002	経度 (0.01度単位)	16	-18000	5桁数字16ビット
2 02 123	尺度変更 (「深さ」の単位 : 0.01m→1000m、1 0 の (Y-128) 乗で除する)		-	
0 07 061	深さ-0.01m単位	14		0 4桁数字14ビット
2 02 000	尺度変更 (元に戻す)		-	
0 60 001	マグニチュード (0.1単位)	7		0 2桁数字 7ビット
1 13 000	13記述子の遅延反復		-	
0 31 002	反復回数 (2次メッシュの数)	16		0 4桁数字16ビット
0 05 240	1次メッシュ緯度番号	7		0 2桁数字 7ビット
0 06 240	1次メッシュ経度番号	7		0 2桁数字 7ビット
0 05 241	2次メッシュ緯度番号	4		0 1桁数字 4ビット
0 06 241	2次メッシュ経度番号	4		0 1桁数字 4ビット
1 07 000	7記述子の遅延反復		-	
0 31 001	反復回数 (当該2次メッシュ内の3次メッシュの数)	8		0 3桁数字 8ビット
0 05 242	3次メッシュ緯度番号	4		0 1桁数字 4ビット
0 06 242	3次メッシュ経度番号	4		0 1桁数字 4ビット
1 03 000	3記述子の遅延反復		-	
0 31 003	反復回数 (当該3次メッシュ内の4分の1地域メッシュの数)	8		0 2桁数字 8ビット
0 05 243	2分の1地域メッシュ番号	3		0 1桁数字 3ビット
0 06 244	4分の1地域メッシュ番号	3		0 1桁数字 3ビット
0 60 002	計測震度	7		0 3桁数字 7ビット

↑注 : バイナリから復元する際には参照値を加えること

オクテット	データ幅	バイナリ	内容	解説
1~3	24	000000100101001111011110	152542 第4節の長さ-オクテット	
4	8	00000000	0 保留	
5~	8	00000100	4 反復回数 (報ずる階級震度分)	
	7	1011010	90 要素の修飾	
	2	00	00 _{bin} 階級震度の修飾 (00=なし、01=弱[-]、10=強[+]とする)	
	4	0100	4 階級震度(整数部)	
	7	0100011	35 計測震度1 <-- 階級震度に対応する計測震度の下限	
	7	0101100	44 計測震度2 <-- 階級震度に対応する計測震度の上限	
	7	1011010	90 要素の修飾	
	2	01	01 _{bin} 階級震度の修飾 (00=なし、01=弱[-]、10=強[+]とする)	
	4	0101	5 階級震度(整数部)	
	7	0101101	45 計測震度1 <-- 階級震度に対応する計測震度の下限	
	7	0110001	49 計測震度2 <-- 階級震度に対応する計測震度の上限	
	7	1011010	90 要素の修飾	
	2	10	10 _{bin} 階級震度の修飾 (00=なし、01=弱[-]、10=強[+]とする)	
	4	0101	5 階級震度(整数部)	
	7	0110010	50 計測震度1 <-- 階級震度に対応する計測震度の下限	
	7	0110110	54 計測震度2 <-- 階級震度に対応する計測震度の上限	
	7	1011010	90 要素の修飾	
	2	01	01 _{bin} 階級震度の修飾 (00=なし、01=弱[-]、10=強[+]とする)	
	4	0110	6 階級震度(整数部)	
	7	0110111	55 計測震度1 <-- 階級震度に対応する計測震度の下限	
	7	0111011	59 計測震度2 <-- 階級震度に対応する計測震度の上限	
	7	0000000	00 電文の種類 (2桁7bitとする)	
22		0111111000100110010001	20180617 年月日 (地震時刻 (UTC)、年12bit+月4bit+日6bit) =2018年6月17日	
11		10110111010	2258 時分 (地震時刻 (UTC)、時5bit+分6bit) =22時58分 (UTC)	
10		1000001000	520 震央地名番号=大阪府北部	
15		011000011000100	12484 緯度 (0.01度単位) =124.84度 (北緯34.84度)	
16		0111101101001010	31562 経度 (0.01度単位) =315.62度 (東経135.62度)	
14		00000000001010	10 深さ (1000m=km単位) =10km	
7		0111101	61 マグニチュード=6.1 (※1)	
16		000000001110010	114 反復回数 (2次メッシュの数) =114回	
7		0110011	51 1次メッシュ緯度番号	
7		0100010	34 1次メッシュ経度番号	
.		.	.	
.		.	.	
7		0110100	52 1次メッシュ緯度番号	┘
7		0100011	35 1次メッシュ経度番号	
4		0000	0 2次メッシュ緯度番号	
4		0110	6 2次メッシュ経度番号	
8		01100100	100 反復回数 (当該2次メッシュ内の3次メッシュの数) =100回	
4		0000	0 3次メッシュ緯度番号	┘
4		0000	0 3次メッシュ経度番号	
8		00010000	16 反復回数 (当該3次メッシュ内の4分の1地域メッシュの数) =16回	
3		001	1 2分の1地域メッシュ番号	┘
3		001	1 4分の1地域メッシュ番号	
7		0101010	42 計測震度	┘
3		001	1 2分の1地域メッシュ番号	┘
3		010	2 4分の1地域メッシュ番号	
7		0101010	42 計測震度	┘
3		001	1 2分の1地域メッシュ番号	┘
3		011	3 4分の1地域メッシュ番号	
7		0101010	42 計測震度	┘
3		001	1 2分の1地域メッシュ番号	┘
3		100	4 4分の1地域メッシュ番号	
7		0101011	43 計測震度	┘
.		.	.	
.		.	.	
3		100	4 2分の1地域メッシュ番号	┘
3		100	4 4分の1地域メッシュ番号	
7		0101010	42 計測震度	┘
4		0000	0 3次メッシュ緯度番号	┘
4		0001	1 3次メッシュ経度番号	
8		00010000	16 反復回数 (当該3次メッシュ内の4分の1地域メッシュの数) =16回	
3		001	1 2分の1地域メッシュ番号	┘
3		001	1 4分の1地域メッシュ番号	
7		0101010	42 計測震度	┘
3		001	1 2分の1地域メッシュ番号	┘

3	010	2	4分の1地域メッシュ番号			
7	0101100	44	計測震度	┘		
3	001	1	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	011	3	4分の1地域メッシュ番号			
7	0101010	42	計測震度	┘		
3	001	1	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	100	4	4分の1地域メッシュ番号			
7	0101100	44	計測震度	┘		
.
.
3	100	4	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	100	4	4分の1地域メッシュ番号			
7	0101011	43	計測震度	┘	┘	
.
.
4	1001	9	3次メッシュ緯度番号		┘	
4	1001	9	3次メッシュ経度番号			
8	00010000	16	反復回数(当該3次メッシュ内の4分の1地域メッシュの数)=16回			
3	001	1	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	001	1	4分の1地域メッシュ番号			
7	0100111	39	計測震度	┘		
3	001	1	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	010	2	4分の1地域メッシュ番号			
7	0100110	38	計測震度	┘		
3	001	1	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	011	3	4分の1地域メッシュ番号			
7	0101000	40	計測震度	┘		
3	001	1	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	100	4	4分の1地域メッシュ番号			
7	0100110	38	計測震度	┘		
.
.
3	100	4	2分の1地域メッシュ番号	┘		
3	100	4	4分の1地域メッシュ番号			
7	0100110	38	計測震度	┘	┘	┘
.
.
7	0110100	52	1次メッシュ緯度番号			
7	0100011	35	1次メッシュ経度番号			
.
.
3	100	4	2分の1地域メッシュ番号			
3	100	4	4分の1地域メッシュ番号			
7	0100110	38	計測震度			
.
.
可変	-	0	第4節の長さを偶数オクテットにするため"0"データの補完 (※2)			
8	00000000	00	保留(第4節の終了部)			

※1：マグニチュード(0.1単位)

(1) 「M8を超える巨大地震」の場合、全ビット1(バイナリ:1111111)とする。

データ幅 バイナリ 内容(10進表記) 解説

7 1111111 127 マグニチュード=「M8を超える巨大地震」

(2) 「M不明」の場合、全ビット0(バイナリ:0000000)とする。

データ幅 バイナリ 内容(10進表記) 解説

7 0000000 0 マグニチュード=「M不明」

(3) 「M6.4」の場合

データ幅 バイナリ 内容(10進表記) 解説

7 1000000 64 マグニチュード=6.4

※2：今回提供するサンプルデータでは補完なし。